

## カミツキガメ

分類: カメ目カミツキガメ科

学名: *Chelydra serpentina*

英名: Snapping turtle (Snapper、Common snapping turtle、Common snapper)

和名: カミツキガメ

別名・流通名: カミツキガメ、コモンスナッパ、スナッパ

原産地と分布: カナダ、アメリカ合衆国、中米、南米北部。

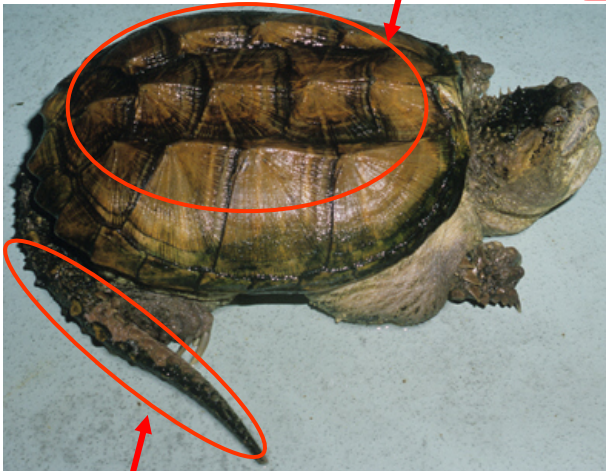
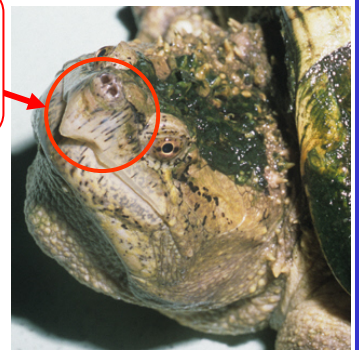
未判定外来生物: なし。

種類名証明書添付生物: ワニガメ。

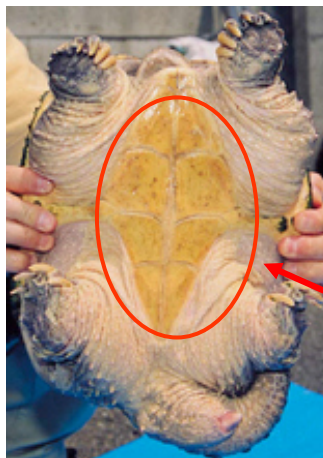
**形態的特徴:** 北米産の基亜種ホクベイカミツキガメで甲長約50cm、体重約34kgに達するが、他の亜種を含め35 cm を越える個体は稀。甲は厚みがあり、幅広だが、その形には変異が大きい。背甲には3条のやや発達した隆条(キール)があり、後縁は鋸歯状。背甲は褐色ないしオリーブ色(若い個体はより暗色)で、甲板の継ぎ目付近がより暗色となり、黄色や橙色、ないし黒色の筋状模様や放射状模様が入ることがある。腹甲は小型で、橋(腹甲と背甲をつなぐ部分)が横方向に細長く伸びた十字型、幼体では暗色斑を持つことがあるが、成体では一様な黄色ないし黄褐色となる。頭部はかなり大型で、鼻面(吻端)は短くほとんど突き出さない。上顎の先端は尖るか、ほぼ平坦で、ほとんど屈曲しない。四肢は頑健でよく発達し、鋭い爪を備えている。尾は腹甲長に匹敵する長さ。尾の背面には骨質の大型鱗が1--3列になって並ぶ。

背甲の3本の隆条(キール)は破線状で、その前端や後端は縁甲板に達しない。

上顎の先端は尖るか、ほぼ平坦。鼻面(吻端)はあまり突出せず、眼窩から吻端までの距離は眼窩径の1.5~2倍程度。



尾は長く頑健で、背側に1~3列の大型鱗がある。



腹甲は背甲に比べ小型で、斑紋はない。橋(腹甲と背甲をつなぐ部分)は横方向に細長く、四肢の付け根の皮膚が広く露出する。

特記事項: